

- 2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会により多様な外国人観光客の来訪が見込まれる競技会場周辺、ホストタウン、選手村が所在する地域において、ストレスフリーで快適に旅行できる環境を緊急に整備する必要がある。
- このため、これらの地域のうち、これまで訪日外国人旅行者の受入環境整備が十分に進んでいなかった地域を中心に、公共交通機関から観光案内所、観光拠点、飲食・小売店等に至るまでの地域が一体となって行う多言語対応、無料公衆無線LANやキャッシュレス決済環境の整備、バリアフリー化等を緊急的に支援する。

まちなかにおける受入環境整備

- まちなかにおける多言語観光案内標識の一体的整備

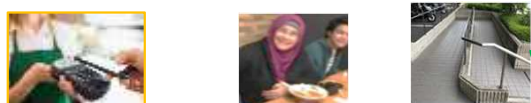


- ICTを活用した案内標識の整備
- デザインを統一した多言語サイン看板の整備

- 地域の飲食店、小売店等におけるインバウンド対応強化



- 多言語翻訳システム機器の整備
- 無料公衆無線LAN環境の整備



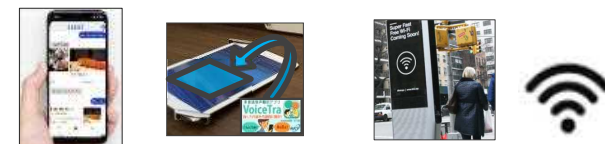
- キャッシュレス決済環境の整備
- ムスリム等対応
- 段差解消等

- 観光地における一体的・面的な訪日外国人旅行者の受入環境整備を支援。



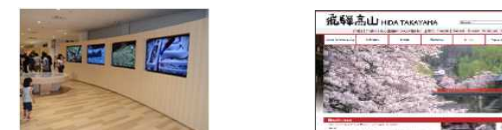
観光案内所等の受入環境整備

- 訪日外国人旅行者への対応力の強化



- 多言語翻訳システム機器の整備
- 多言語翻訳用タブレット端末の整備
- 無料公衆無線LAN環境の整備

- 観光案内所等の情報提供基盤の強化



- 施設の整備改良
- 案内標識の多言語化
- HP・コンテンツ作成
- 案内放送の多言語化
- 掲示物等の多言語化

地域要件

以下のいずれかに該当する市区町村

- 東京オリンピック、パラリンピックの競技会場が所在する自治体
- ホストタウンに登録された自治体
- 選手村が所在する自治体

補助率

補助対象経費の3分の1以内

事業主体

- (1) 地方公共団体
- (2) 民間事業者
- (3) 協議会等

バリアフリー飲食施設ガイドの作成について

- オリパラに向け、オリパラ競技会場周辺における**高齢者・障害者が利用可能な飲食施設ガイドを作成中。**
- 最寄駅・ターミナル駅又は競技会場周辺の飲食施設まで車椅子で移動可能な経路を掲載。**（車椅子利用者用アプリとも連携）**
- 障害の程度に応じて利用可能な施設は異なるため、**施設ごとのバリアフリー対応状況のチェックリストを掲載。**
- 外国人も利用できるよう、**多言語（日・英・中(簡・繁)・韓）にて作成**するとともに、**スマートフォンでダウンロード可能とする。**
- **外国人向け飲食店検索サイト、外国人向けバリアフリー情報発信サイト等と連携**し、本ガイドを周知展開予定。

<バリアフリー飲食施設ガイドのイメージ>

飲食施設のバリアフリー状況



飲食施設まで車椅子で移動可能な経路の表示



車椅子利用者用アプリと連動し、QRコードを読み込むことにより、より詳細な情報の入手が可能

施設内のバリアフリー・インバウンド情報



料理情報



<チェックリストのイメージ> ※主なもの

最寄会場	店名	料理の種類	出入口の幅	出入口の段差	入口から座席までのフラットな経路の有無	車椅子で食事可能なテーブル席	多目的トイレの有無
オリンピックスタジアム	〇〇飯店	中華	75cm	1cm	○	○	○
日本武道館	△△家	和食	80cm	なし	△ (1cmの段差有)	○	×
有明アリーナ	グリル××	洋食	80cm	なし	△ (3cmの段差有)	○	○